

徴収猶予申請書

特

留寿都村長 殿

地方税法附則第59条第1項の規定により、以下のとおり徴収の猶予を申請します。

1 申請者名等 (以下の項目について、ご記入をお願いします。)

申請者	住所所在地	虻田郡留寿都村字XXX 電話番号 XXX (XXXX)XXXX 携帯電話 ()			申請年月日	令和 2年 7月 7日	
	氏名称	〇〇 太郎			印		
納付又は納入すべき税	年度	税目	納期限	税額	本税以外(延滞金等)	納付書番号等	猶予を希望する期間
	2	XX税	2・7・31	1,000,000 円		XXXXXXXX	納期限の翌日から 3・7・31 まで 12 月間
			・				納期限の翌日から まで 月間
			・				納期限の翌日から まで 月間
			・				納期限の翌日から まで 月間
合計			① 1,000,000	②			
新型コロナウイルス感染症等の影響			<input checked="" type="checkbox"/> イベント等の自粛で収入が減少 <input type="checkbox"/> 外出自粛要請で収入が減少 <input type="checkbox"/> その他の理由で収入が減少				

2 猶予額の計算(書き方が分からない場合は、職員が聞き取りをしながら記載します。)

(注) 会計ソフト等で作成した試算表などで代用いただいても構いません。

(1) 収入の減少の状況等

令和2年2月以降、前年同月と比べて収入の減少率が大きい月の収支状況を記載してください。

項目	令和 2年(当年)			前年同月			収入減少率	
	3月	4月	6月	3月	4月	6月		
収入	売上	3,612,477	2,977,865	2,850,918	2,293,453	5,009,821	3,089,121	1-(③÷⑥) 1-(④÷⑦) 1-(⑤÷⑧) のうち最大のものを記載
	小計	③ 3,612,477	④ 2,977,865	⑤ 2,850,918	⑥ 2,293,453	⑦ 5,009,821	⑧ 3,089,121	41 %
支出	仕入	2,597,892	2,203,484	2,189,075	3,312,381	3,569,345	2,157,831	支出平均額 (⑨+⑩+⑪) ÷記入月数 ⑫ 3,160,520 円
	販売費/一般管理費	621,931	511,192	407,987	667,123	690,812	413,125	
	借入金返済	200,000	0	0	250,000	250,000	250,000	
	生活費	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	
	小計	⑨ 3,669,823	⑩ 2,964,676	⑪ 2,847,062	4,479,504	4,760,157	3,070,956	

(注) 売上などを「収入」に、仕入、販売管理費/一般管理費、借入金返済などを「支出」に記入ください。なお、減価償却費など、実際に支払を伴わない費用などは「支出」に該当しません。また、申請者が法人の場合は、生活費は「支出」に該当しません。

※職員記入欄 事業収入の減少等の事実があることを証する書類(売上帳、給与明細、預金通帳等) 聴取税理士
署名押印

印

電話番号

税理士法第30条の書面提出有

(2) 当面の運転資金等の状況等

当面の運転資金等 (⑫ × 6(6か月分))	18,963,120 円	+	今後6か月間に予定されている 臨時支出等の額	300,000 円		
				=	当面の支出 見込額(⑬)	19,263,120 円

(3) 現金・預貯金残高

※職員記入欄 一時納付・納入が困難であることを証する書類(預金通帳、現金出納帳等) 聴取

	金額		金額		金額
現金	200,000 円	預貯金	1,945,463 円	現金・預貯金の 合計(⑭)	2,145,463 円

(4) 納付可能金額

⑭ (現金・預貯金残高) - ⑬ (当面の支出見込額) = 納付可能金額(⑮) 0 円
(マイナスの場合は0)

(5) 猶予を受けようとする金額

(①+②)納付・納入すべき税		-	(⑮)納付可能金額	=	猶予額
1,000,000 円			0 円		1,000,000 円

3 その他の猶予申請(他の猶予の申請を併せて希望する場合)

この申請が許可されなかった場合(※)は、他の猶予制度(換価の猶予)の適用を希望します。

※ 例えば、収入の減少率が低いときはこの申請は許可されませんが、他の猶予制度(換価の猶予)により猶予を受けられる場合がありますので、職員から他の猶予制度についてご案内します。